

令和2年度用「中学社会 公民」3年 年間指導計画作成資料（案）

令和2年5月版

取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。学校以外の場のみで学習が完結するということではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- 単元ごとの配当時数、主な学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- 各単元の評価規準、及び評価基準については、弊社ウェブサイトの「年間指導計画・評価計画（案）」をご参照ください。

教育出版

公民的分野 指導計画表

※公民的分野の教科書での時数84時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動8時間
 (第3学年の社会科全体の時数140時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動33時間)

※公民的分野の総配當時数100時間に対し、教科書では「本時」を84時間で設定し、残りの16時間を予備として、特設「言葉で伝え合おう」・「読んで深く考えよう」(10~12時間)と、「学習のまとめと表現」(4~6時間)などを弾力的に取り扱っていただくように構成しています。本資料では、「各章の導入(はじめに)」と「終章」での活動など8時間分を、学校の授業以外の場で行うことで、今年度のカリキュラムを76時間の授業時数で作成できるように提示しています。

第1章 私たちの暮らしと現代社会

(配当8時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)

1節 私たちが生きる現代社会(配当3時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
1	◇はじめに いまを生きるということ (p.12~13)	○東日本大震災の発生によって、私たちの暮らしや考え方に生じたさまざまな変化や影響を振り返りながら、現在と未来をどのように生きていったらよいかを考える。	●写真や資料とともに本文を読み進め、考えたことや感じたことをまとめる。 ●「章のねらい」を読み、これからこの章を通して学習する内容を捉え、イメージを深める。 【1時間】
2	①つながる私たちと世界 (p.14~15) 世界とつながる私たち 地球規模の広がり 情報の広がり活用 世界とつながることの意味	○グローバル化の観点から、自分たちの暮らしや世界とのつながりについて、具体的な事例を通して理解する。 ○情報化社会において、自分たちが情報を伝え合うことや世界とつながることの意味に気づき、情報との接し方や活用の仕方について考える。	
3	②世代を超えたつながりへ (p.16~17) 進む少子化と高齢化 直面する課題 世代を超えてともに生きる	○石油危機(1973年)以降の社会の変化と、少子化や核家族化といった家族形態の変化について理解する。 ○少子高齢化社会の課題に気づき、国や地方公共団体の対策と、自分たちができることについて考える。	

2節 現代につながる伝統と文化(配当2時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
4	①豊かな生活を実現するために (p.18~19) 進歩する科学 科学の進歩と生命 日本人の宗教観	○科学技術の発展がもたらした社会の変化や、私たちの暮らしへの影響について理解する。 ○日本人の宗教観と宗教のもつ意味や、私たちの暮らしの中で果たす役割を考える。	
5	②理解し、尊重し合うこと (p.20~21) 暮らしのなかの文化 芸術の果たす役割 グローバル化と異文化理解	○日常生活の中から日本の伝統や文化、芸術を探し出すとともに、それらが自分たちの暮らしの中で、どのような役割を果たしているかを理解する。 ○異文化交流を積極的に行うことの意義について考える。	
-	☆読んで深く考えよう つなげたい、日本の伝統や文化 (p.22~23)	○過去から受け継がれ、身近なところに息づいている伝統や文化について理解し、未来へ継承していくことの意味について考える。	

3節 私たちがつくるこれからの社会(配当3時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
6	①さまざまな人と生きる (p.24~25) 人と人をつなぐもの 社会生活とルール ルールと責任	○人間は、誰もが社会集団の中で生きる社会的存在 であることに気づく。 ○ルールやきまりに込められた意味を理解し、契約と その中にある責任と義務などの重要性について考 える。	
7	②よりよい社会を築くために (p.26~27) ぶつかる考え方 合意への道筋 ルールをつくろう	○社会で暮らす人々とのさまざまな対立の存在と、 それを解決し合意を旨としていくことの意義に気づく。 ○「マンションの駐車場問題」を例に、対立から合意 に向けた新たなルール作りのあり方について考える。	
8	③誰もが大切にできるルールとは (p.28~29) ルールづくりの条件 ルールを見直そう	○「マンションの駐車場問題」を解決する事例を通し て、対立する意見の調整の仕方を学ぶとともに、誰も が納得できるルールを、話し合いによって自分たち自 身が作っていくことの意義に気づく。 ○効率と公正の観点から他者との合意を形成する努 力を積み重ねながら、対立から合意を得ていくこと の意義に気づく。	
-	★言葉で伝え合おう 「情報リテラシー」ってなんだろう (p.30~31)	○「情報リテラシー」の観点から、さまざまな情報を活 用する際の留意点や課題について、具体例をもとに 考える。	

第2章 人間を尊重する日本国憲法
(配当16時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)

1節 民主主義を支える日本国憲法(配当4時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
9	◇はじめに なぜ憲法を学ぶのか (p.34~35)	○憲法を学ぶにあたって、立憲主義の憲法や法の構成についての理解を深め、憲法とは何か、なぜ憲法を学ぶ必要があるのかについて興味・関心をもつ。	●写真や資料とともに本文を読み進め、考えたことや感じたことをまとめる。 ●「章のねらい」を読み、これからこの章を通して学習する内容を捉え、イメージを深める。 【1時間】 ※授業以外の場で行う場合、次時などで教師が生徒の理解の状況を確認しながら、必要があれば解説することも考えられる。
10	①侵すことのできない永久の権利 (p.36~37) 人権思想の誕生 人権思想の発展 大日本帝国憲法の制定	○人権思想の歴史や特色を整理してまとめ、人権の保障が必要となった背景について考えを深める。 ○大日本帝国憲法制定の背景や、内容の特徴について理解する。	
11	②憲法はこうして生まれた (p.38~39) 日本国憲法の誕生 三つの基本原理 憲法の人権保障	○日本国憲法の成立過程とその意義について、大日本帝国憲法と比較しながら考察し、説明することができる。 ○憲法の三つの基本原理を理解し、基本的人権の保障が強く規定されていることの意義を理解する。	
12	③国民の意思による政治 (p.40~41) 国民主権 象徴としての天皇	○将来の日本を担う主権者の一人として、国民主権の意義やその実現について考える。 ○象徴天皇制の意義や特徴について理解し、国民主権の原理について理解を深める。	

2節 憲法が保障する基本的人権(配当10時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
13	①私たちの権利としての自由 (p.42~43) 自由に生きる権利とは 精神活動の自由	○自由権の考え方や意義について、身近な生活との 関わりから理解する。 ○日本国憲法の条文から、精神活動の自由について の内容を具体的に読み取り、理解を深める。	
14	②自由な社会のために (p.44~45) 生命・身体の自由 経済活動の自由	○憲法で保障された生命・身体の自由について、憲 法の条文や具体例を通して、理解を深める。 ○憲法で保障された経済活動の自由について、憲法 の条文や具体例を通して、その意義や目的を考える。	
15	③法の下での平等とは (p.46~47) 法の下での平等と差別問題 男女の平等 障がいのある人とともに	○個人として尊重されることの意味と意義や、すべて の国民の自由や平等が保障されて民主主義が実現 することを理解する。 ○女性や障がいのある人などへの差別や偏見が人 権侵害であることを理解し、自らの意識や行動を変化 させる態度を養う。	
16	④差別をしない、させない (p.48~49) 部落差別からの解放 アイヌ民族への差別 定住外国人とともに	○具体的な事例を通じて差別の実態に気づき、自ら の生活と結びつけて差別の問題を考え、それを許さな い態度を養う。 ○差別の解消に向けて主体的に考え、取り組んでい こうとする態度を身につける。	
-	☆読んで深く考えよう ともに生きる社会をみざす人たち (p.50~51)	○識字運動やハンセン病問題に関する具体的な事例 を読み解くことを通じて、人権についてさらに深く考え る。	
17	⑤人間らしく生きるための権利 (p.52~53) 社会権とは 生存権と社会保障	○社会権の意義を自由権や平等権の保障との関連 で考えるとともに、社会権の考え方が生まれた背景を 理解する。 ○社会権の最も基本となる生存権の保障と、それに 基づく制度について理解を深め、その意義を考える。	
18	⑥20世紀生まれの権利 (p.54~55) 教育を受ける権利 労働者の権利	○社会権において、教育を受ける権利が保障されて いることについて理解し、その意義を考える。 ○労働者を守る権利が保障されるようになった歴史 的背景や、法の整備を含めた政府の取り組みについ て理解する。	
19	⑦みんなで育てる人権意識 (p.56~57) 「新しい人権」の根拠とは 新たな権利の保障 広がる人格権	○新しい人権の根拠や内容について、その背景となる 社会の変化と関連づけて考えるとともに、さまざまな 取り組みについて理解する。 ○新しい人権について、立場による考え方の違いや 高まる個人の責任などにも着目し、人権の問題を公 正に判断する態度を養う。	
-	★言葉で伝え合おう 犯罪の防止か、プライバシーの保護 か (p.58~59)	○「自分が住む地域に監視カメラを設置するべきか」 を論題にディベートを行うことを通じて、それぞれの立 場や考え方の違いを理解したうえで、自分の考えをも つようになる。	

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
20	⑧基本的な人権を守るために (p.60～61) 参政権 請求権 人権を守るためのしくみ	○参政権の内容と意義を具体的な事例を通じて理解し、国民が政治や裁判に積極的に参加し、監視することの重要性に気づく。 ○人権の救済を求める権利が保障されていることや、人権の救済のために多くの人に関わり、社会全体で人権を守るしくみづくりが進んでいることを理解する。	
21	⑨人権侵害のない世界に (p.62～63) 世界各国の共通の基準 人権問題への国境を越える取り組み	○世界に広がる人権問題と、それに対する取り組みについて理解し、国際的な理解と協力の必要性が高まっていることに気づく。 ○日本と世界の人権をめぐる課題の比較などを通して、今後の日本の役割や自分たちにできることを考える。	
22	⑩自由と権利を守るために (p.64～65) 自由と責任 公共の福祉と人権 国民の権利と義務	○自由と権利を守るために、国民一人一人が個々の責任や義務を果たすことの重要性について考える。 ○権利の濫用の問題や公共の福祉の意味を考え、相互の尊重や合意を図る態度の大切さに気づき、自らの態度や行動に具現化する。	

3節 私たちの平和主義(配当2時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
23	①憲法に定められた平和主義 (p.66~67) 平和主義を掲げる憲法 自衛隊の役割と存在をめぐって	○平和主義という考え方が生まれた背景に気づき、 平和主義という考え方のもつ意義を理解する。 ○日本のこれまでの平和主義の歩みや、安全と防衛 の問題について、自衛隊と文民統制の視点などから 考える。	
24	②日本の安全保障と平和主義のこ れから (p.68~69) 日米安全保障条約の役割と影響 国際社会の平和と日本の貢献 平和の構築へ向けて	○日本の安全保障の現状と、国際社会の平和に対す る日本の貢献のあり方について理解を深める。 ○日本国憲法における平和主義の立場をふまえなが ら、これからの社会の平和の構築について考える。	
-	☆読んで深く考えよう 国際社会の厳しい現実と平和主義 (p.70~71)	○日本の平和主義の理想と現実を理解したうえで、 未来の平和のために具体的な活動に取り組んでいる 人たちの姿を学ぶことで、国際社会における平和の 構築について考える態度を養う。	

第3章 私たちの暮らしと民主政治
(配当19時間)

1節 民主主義と日本の政治(配当10時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
25	◇はじめに 政治とはなんだろう (p.74~75)	○民主主義の意義とともに、議会制民主主義(代議制)の一般的なしくみを理解する。 ○多数決の原理と少数意見のあり方について理解し、民主主義と権力との関係について考える。	
26	①国民の代表を選ぶ選挙 (p.76~77) 選挙で議員を選ぶこと 日本の選挙制度 選挙の課題	○選挙の意義としくみを理解させ、民主的な選挙権の行使について考える。 ○日本の選挙制度を理解するとともに、一票の価値の地域ごとの格差など、選挙をめぐるさまざまな課題について考える。	
27	②願いをかなえる政党政治 (p.78~79) 政党とは何か 与党と野党 選挙と政党政治 政治資金	○政党がもつ意義や、政党の働きについて理解する。 ○政党と国民との関わりや、政党による政治運営のしくみなどの観点から、政党政治の役割について考える。	
28	③マスメディアと政治 (p.80~81) 世論とマスメディア マスメディアと公平性 マスメディアへの姿勢	○世論とそれを形成するマスメディアの機能を理解し、民主政治との関わりを考える。 ○新聞記事などの具体例を通して、マスメディアが国民に対して果たす役割について理解する。	
29	④国会の決定は国民の意思 (p.82~83) 国会の地位 国会の種類 国会の仕事	○憲法で定められた国会の地位と、国会のしくみや種類について理解する。 ○法律の制定を中心とした、国会が行うさまざまな仕事を理解し、その意義を考える。	
30	⑤二つの院をもつ国会 (p.84~85) 二院制の国会 衆議院の優越 国会の運営	○二院制がとられている意味と、「衆議院の優越」がもつ意義について考える。 ○国会での審議がどのように行われているか、国会の運営のしくみを理解する。	
31	⑥国会議員が果たす役割 (p.86~87) 国会議員の役割 議員の立法活動 政党と国会議員	○国会において、国会議員がどのような役割を果たしているかについて、議員の具体的な活動や仕事の内容から理解を深める。 ○内閣と議員それぞれの立法活動の特徴や課題について、考えを深める。	
32	⑦内閣と国会の関係 (p.88~89) 内閣の仕事 議院内閣制とは 内閣による衆議院の解散	○内閣の構成や具体的な仕事を理解し、我が国の議院内閣制のしくみとその意義について、アメリカの大統領制との比較を通して理解を深める。 ○内閣が交代する背景や手続きについて、具体的な事例を通して理解する。	

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
33	㊸行政をまとめる内閣 (p.90~91) 内閣のしくみと国務大臣の仕事 国のさまざまな機関 一般職の公務員	○内閣総理大臣や国務大臣,各行政機関の仕事などから,内閣が果たす役割を具体的に理解する。 ○各行政機関で働く公務員の仕事や,公務員の果たす役割について理解する。	
34	㊹暮らしと関わる行政 (p.92~93) 行政の拡大 行政改革の推進 行政の効率と公正	○自分たちの暮らしと関わる行政が,どのような課題を抱え,改革が進められてきたかを理解する。 ○これからの行政のあり方と,行政における効率と公正について,具体的に考える。	

2節 司法権の独立と裁判(配当5時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
35	①権利と秩序を守るために (p.94~95) 司法権をもつ裁判所 民事裁判 行政裁判	○裁判のはたらきと、裁判所の種類について理解する。 ○民事裁判のしくみと行政裁判について、具体例をもとに理解する。	
36	②犯罪を裁く (p.96~97) 刑事裁判	○刑事裁判のしくみや特徴を、民事裁判の学習との比較を通して、具体的に理解する。 ○裁判官、検察官、弁護士といった裁判に関わる人々の、それぞれの役割や意義について考える。	
37	③公正な裁判とは (p.98~99) 人権を守るためのしくみ 被疑者・被告人の権利 被害者参加制度	○三審制や再審制度など、人権を守るためのしくみについて理解し、慎重な裁判を確保することの意義について考える。 ○被疑者・被告人の権利と被害者参加制度について理解し、その意義や課題について考える。	
38	④私たちの司法参加 (p.100~101) 裁判員制度 司法制度改革とは これからの司法制度	○裁判員制度のしくみと、制度が導入された意義について理解し、長所や短所について整理する。 ○司法制度改革の課題と、これからの司法制度のあり方について考える。	
-	★言葉で伝え合おう もしも私が裁判員裁判に参加したら (p.102~103)	○事例をもとに、自分が刑事裁判に参加したつもりで判決を考える活動を通し、法に基づく公正な裁判の意義について理解する。	
39	⑤互いに監視し合う三つの権力 (p.104~105) 司法権の独立 三権分立のしくみ 違憲立法審査権	○三権分立のしくみに基づく司法権の独立の意義を理解し、違憲立法審査権の意義について考える。 ○三権の相互の抑制について考え、三権分立のしくみが権力の濫用を防ぎ、国民の自由を保障しようとしていることに気づく。	

3節 地方自治と住民の参加(配当4時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
40	①身近な地域の政治 (p.106~107) 地域社会のいま 民主主義は地域から 地方自治のしくみ	○地域が抱える課題に気づき、住民参加による地方自治の意義について考える。 ○地方自治のしくみが「民主主義の学校」ともよばれることを、国政との比較などを通して理解する。	
41	②暮らしを支える地域の行政サービス (p.108~109) 地方公共団体の仕事 地方公共団体の行政組織 地方財政の現状と課題	○地方公共団体の仕事について、具体例を通して理解を深める。 ○地方財政のしくみと、近年の課題や取り組みについて理解する。	
42	③住民参加で地域をつくる (p.110~111) 国から地方へ 住民の参政権 住民参加	○住民がもつさまざまな権利とその意義を理解し、住民の自治意識を高めることの大切さに気づく。 ○日本各地で、さまざまな住民投票の実施や、特色ある条例の作成が行われていることを理解し、主体的に地方自治に取り組もうとする意欲を喚起する。	
43	④変わりゆく地域社会 (p.112~113) 地域社会を取り巻く課題 解決に向けた取り組み これからの地域社会	○地域の自立に関わる取り組みと、その課題について理解し、今後の新しい取り組みを考える。 ○外国人市民との共生や国際交流など、世界に開かれた地域社会のあり方について考え、理解を深める。	
-	★言葉で伝え合おう まちづくりのアイデアを提言しよう (p.114~115)	○身近な地域の現状や課題をとらえ、地域の政治に対して自分たちにできる活動を考える。	

第4章 私たちの暮らしと経済

(配当15時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)

1節 消費生活と市場経済(配当6時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
44	◇はじめに 循環する経済 (p.118~119)	○経済を動かす三つの主体をとらえながら、自分たちの暮らしと経済活動とのつながりへの関心を高める。	●写真や資料とともに本文を読み進め、考えたことや感じたことをまとめる。 ●「章のねらい」を読み、これからこの章を通して学習する内容を捉え、イメージを深める。 【1時間】
45	①家計とはなんだろう (p.120~121) 家計と所得 消費と貯蓄 さまざまな支払いの手段	○家計の果たす役割を、財やサービスの供給と、消費や貯蓄との関わりから理解する。 ○支払いにはさまざまな手段があることをふまえながら、消費の内容を正しく選択することの意義について考える。	
46	②消費者を守るもの、支えるもの (p.122~123) 経済活動を支えるもの 消費者を守る制度 契約を結ぶ意味	○経済活動を支えるものとして、信用が大切であることに気づき、消費者の安全や権利を守るために、さまざまな法律や制度が定められていることを理解する。 ○消費者問題に取り組むさまざまな消費者行政が進められていることをふまえ、消費者の自立における契約の意味を考える。	
47	③生産と消費をつなぐもの (p.124~125) 流通とは 商品の流通と情報の流通 変わる流通と消費	○流通のしくみを理解し、自分たちの生活と流通との関わりに気づく。 ○流通機構の変化と発展における長所と短所をとらえ、自分たちの生活への影響を考える。	
48	④ものの価格の決め方 (p.126~127) 価格の水準 需要と供給 市場メカニズム	○市場における商品の価格の決め方について、身近な生活の中から具体的に考える。 ○需要と供給と価格の関係について考え、市場経済のしくみを理解する。	
49	⑤価格のもつ意味 (p.128~129) 市場と効率性 競争の役割 市場と公平性	○主な価格の種類をふまえながら、競争の役割を通して、市場が機能するために必要な条件を考える。 ○財やサービスの種類によっては、市場に適さないものがある理由を考える。	
-	☆読んで深く考えよう 需要曲線と供給曲線ってなんだろう (p.130~131)	○需要曲線と供給曲線が、それぞれどのようなことを表現しているのかを考える。	

2節 生産のしくみと企業・金融(配当5時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
50	①生産活動をにう主体 (p.132~133) 生産とは 企業という経済主体 私企業と資本主義経済 公企業の役割	○企業という経済主体の果たす役割を、生産のしくみや生産要素を通して理解する。 ○資本主義経済のしくみをふまえ、私企業と公企業がもつそれぞれの役割や違いについて理解する。	
51	②さまざまな企業 (p.134~135) 会社とは 株式会社のしくみ 大企業と中小企業	○私企業の中でも数多く存在する会社企業の種類と、株式会社のしくみについて理解する。 ○規模からみた企業の違いやそれぞれの特色を理解し、日本経済の実態や今後の課題について考える。	
52	③間接金融の代表、銀行 (p.136~137) 金融とは 銀行の役割 中央銀行の役割	○金融機関の種類や役割について理解し、間接金融と直接金融の違いをとらえる。 ○銀行のさまざまな仕事と目的をふまえながら、日本銀行と一般の銀行との違いを理解する。	
53	④直接金融の舞台 (p.138~139) 身近になった株式市場 投資とはなんだろう 株式市場のはたらき 投資と投機	○株式市場のしくみを理解させ、そのはたらきや役割を考える。 ○株式市場において、投資が本来もつ意味と市場への影響について考える。	
54	⑤市場経済の中の社会的責任 (p.140~141) 交換とは 企業の責任 金融機関の責任 消費者としての責任	○企業や金融機関がもつ社会的責任について、具体的に理解する。 ○最後の選択者として、自分たち消費者にも責任があることに気づき、市場経済との関わり方を考える。	
-	★言葉で伝え合おう 企業にこんなCSRを行ってほしい (p.142~143)	○CSR事業に積極的に取り組んでいる企業について調べ、まとめた内容を発表したり新たな提案を行ったりするポスターセッションを通じて、企業の社会的責任へのより深い理解と、プレゼンテーション能力を育成することができる。	

3節 財政と政府の役割 (配当4時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
55	①財政が果たす三つの役割 (p.144~145) 財政とは 資源配分 所得の再分配 経済の安定化	○第三の経済主体として、政府の経済活動を表す財政について、そのしくみを理解する。 ○資源配分、所得の再分配、経済の安定化という財政の三つの役割を、具体的にとらえる。	
56	②税金を納めること (p.146~147) 暮らしと税金 国税と地方税 直接税と間接税 租税の効率性と公平性	○税金の種類とそれぞれの特徴について、身近な暮らしの中から具体的に理解する。 ○租税には効率性と公平性の問題があることに気づき、納税の意義について考える。	
57	③税金の行方と国の借金 (p.148~149) 歳入と歳出 国と地方 財政赤字	○政府の収入(財源)と支出の内容や、特徴について理解する。 ○財政赤字など政府が抱える課題とその取り組みについて理解し、今後の財政のあり方を考える。	
58	④経済政策が目ざすもの (p.150~151) GDPと経済成長 インフレとデフレ 経済政策	○経済の成長と安定のしくみや、自分たちの生活との関連を理解する。 ○経済の安定のために、政府や日本銀行が行う経済政策について理解し、どのように行われるべきかを考える。	

第5章 安心して暮らせる社会

(配当9時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)

1節 労働と社会保障(配当6時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
59	◇はじめに 社会の中で働くということ (p.154~155)	○社会の中で自分が働くことの意義と、国全体の経済活動との関連について考える。	●写真や資料とともに本文を読み進め、考えたことや感じたことをまとめる。 ●「章のねらい」を読み、これからこの章を通して学習する内容を捉え、イメージを深める。 【1時間】
60	①働く人たちのいま (p.156~157) 経済状況の変化とその影響 働く人たちの権利	○働くこと目的や、働く人たちを取り巻く日本社会の現状と課題について理解する。 ○労働三法をはじめ、働く人たちの権利がどのように守られているかを理解する。	
61	②安心して働ける社会 (p.158~159) 働く環境の変化 女性と労働 さまざまな試み	○労働環境の変化と、深刻化するさまざまな課題をとらえる。 ○女性や非正規社員の人たちが抱える労働問題をふまえ、安心して働くことができる社会のあり方について考える。	
62	③互いに助け合う社会 (p.160~161) 社会保障とは 社会保障のしくみ 給付の内訳	○日本の社会保障制度の目的と、そのしくみや特徴を理解する。 ○現在の社会保障制度が抱える課題をふまえながら、今後の社会保障にどのような考え方が必要かを考える。	
63	④社会保障の充実のために (p.162~163) 人口減少の中で 介護保険 給付と負担の関係 今後の社会保障のあり方	○少子高齢社会の中で、社会保障制度が抱える課題を具体的に理解する。 ○介護保険や年金保険などの給付と負担の関係について理解し、これからの社会保障制度を支えていくために必要なことを考える。	
64	⑤暮らしやすいまちづくりへ (p.164~165) 社会資本とその充実のために NPOと協働の広がり	○社会資本や公共サービスについて具体的に理解し、社会資本の充実のためにどのようなことが大切なのかを考える。 ○協働という考え方や、その取り組みが意味するものとは何かを理解する。	
-	★言葉で伝え合おう 福祉の課題を追究しよう (p.166~167)	○福祉に関連する課題の中から、テーマを決めてレポートを作成させる活動を通して、福祉の課題に対する理解を深め、レポート作成能力をさらに育成することができる。	

2節 これからの日本経済の課題(配当3時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
65	①循環型社会に向けて (p.168~169) 公害問題 環境保全の取り組み 循環型社会の実現へ	○公害問題への理解を通して、環境保全への取り組みが進められてきたこれまでの歴史や、現在の状況をとらえる。 ○排出ごみの問題解決や、企業・行政・住民による協働が循環型社会の実現のために求められていることを理解し、環境問題への取り組みの重要性に気づく。	
66	②グローバル化する経済 (p.170~171) 経済のグローバル化の中で グローバル化の影響	○経済におけるグローバル化の進展によって、国際社会では何が起り、その結果日本にはどのような影響があったかをとらえる。 ○グローバル化する国際社会の中で、日本経済が抱える課題とその解決について考えを深める。	
67	③新たな日本経済のあり方 (p.172~173) 世界に誇れる日本の技術 地域からの活性化 「豊かさ」の変化	○日本の「ものづくり」の特徴や課題、地域ごとの格差解消に向けた取り組みなど、日本経済の現状をとらえる。 ○さまざまな地域の新しい試みの成果や課題をとらえ、これからの日本経済のあり方を考える。	
-	☆読んで深く考えよう 貿易とはなんだろう (p.174~175)	○貿易のもつ利点、過去の日本の貿易のあり方や現在の状況、為替レートのしくみなどを理解しながら、貿易の意義と、国際社会における日本経済の課題を深く考える。	

第6章 国際社会に生きる私たち

(配当13時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)

1節 国際社会と国家(配当7時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
68	◇はじめに 国際社会の「理想と現実」 (p.178~179)	○日本が近隣諸国との間で抱えている課題をとらえ、国際社会が「理想と現実」の間で揺れ動いていることを理解する。 ○国際社会に存在するさまざまな課題を学び、その解決に向けて自分なりに取り組んでいくことの意義を考える。	●写真や資料とともに本文を読み進め、考えたことや感じたことをまとめる。 ●「章のねらい」を読み、これからこの章を通して学習する内容を捉え、イメージを深める。 【1時間】
69	①国際社会を構成する国家 (p.180~181) 主権国家とは 主権が及ぶ範囲 日本の領土をめぐって	○主権国家を基本単位として構成される国際社会の特色や、国家の主権が及ぶ範囲について理解する。 ○日本の領土をめぐる課題をとらえるとともに、国際社会の平和と秩序を維持していくために大切なことは何かを考える。	
70	②互いに尊重し合う国家 (p.182~183) 海外旅行とパスポート 国旗と国歌 国際法の役割	○世界のどの主権国家にもある国旗と国歌の意義と、その役割を理解する。 ○国際社会の平和と秩序を維持していくために、国際法が果たしている役割と課題について考えを深める。	
71	③国際社会のまとめ役 (p.184~185) 国際連合の誕生 国連のしくみ 国際連合のはたらき	○国際連合が成立した経緯としくみ、そのはたらきを理解し、国際機構の果たす役割の大切さに気づく。 ○平和維持活動(PKO)やさまざまな専門機関など、世界の平和や人々の暮らしの向上に努める国連の活動を理解する。	
72	④結びつきを強める国際社会 (p.186~187) 地域統合とEU アジアにおける地域統合と日本 北アメリカから始まった自由貿易協定	○EU, ASEAN, APECなどを例に、国際社会における地域統合についての理解を深め、日本との関わりについて考える。 ○日本が結んでいる経済連携協定について調べ、その効果や日本への影響を考える。	
-	☆読んで深く考えよう 日本の外交のいま (p.188~189)	○日本の外交の基本的な考え方、北朝鮮との日本人拉致問題及び国交正常化問題、北方領土問題について、それぞれの現状と課題、今後の交渉のあり方を考えながら、日本の外交の現在と今後について深く考える。	
73	⑤世界の一員として (p.190~191) 核の廃絶に向けて 日本の国際貢献 世界のなかの日本	○日本の国際貢献のあり方について、平和主義を貫くという視点からとらえ、今後も期待される活動を考える。 ○アジアにおける日本の国際貢献について、技術協力や経済援助の視点から考える。	
74	⑥民間から始める国際支援 (p.192~193) NGOの役割 政府との連携 さまざまなつながり	○NGOによる国際支援活動の具体例を通して、民間でもできる国際支援の方法や特徴について考える。 ○さまざまな団体や個人と連携することなどによって生まれる、自分たちにもできる行動のあり方を具体的に考える。	

2節 国際社会が抱える課題(配当6時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
75	①終わらない地域紛争 (p.194~195) 冷戦後の世界 アフリカの紛争 紛争による難民問題	○世界の地域紛争の現状を理解し、紛争が長引く原因や解決を妨げる課題について考える。 ○難民問題など紛争が及ぼす未解決の課題について、その原因を理解し、解決策について考える。	
76	②多様性の中で生きる (p.196~197) 多様な考え方や文化 宗教と政治 国際社会の中の宗教問題	○世界のさまざまな文化や宗教が、人々に与える影響について理解を深める。 ○多様性を受け入れることが、社会にとってどのような意味をもつのかについて考える。	
77	③安全をおびやかすもの (p.198~199) 人間の安全保障 複雑化する南北問題 国際社会の取り組み	○「人間の安全保障」という考え方の広がりに着目し、こうした考え方が注目されるようになった背景に気づく。 ○グローバル化が進む国際社会という広い視野から、南北問題や南南問題などの国家間の格差の現状と課題について考える。	
78	④なくてはならない食糧と水 (p.200~201) 急激な人口の増加 食糧問題の現状 「水の世紀」が抱える問題	○「人間の安全保障」という視点から、食糧と水の不足を中心に、世界が抱える深刻な問題の原因や背景について考える。 ○水資源をめぐる起こっている世界の動きに気づき、自分たちの生活への影響やこれからの世界のあり方を考える。	
79	⑤これからの資源とエネルギー (p.202~203) 限りある資源 新しいエネルギー 原発事故のあとに	○限りある資源と新しいエネルギーに関して、それぞれの現状と今後の課題を理解する。 ○資源やエネルギーを安全で持続可能な手段によって利用していく方法について、自分たちの暮らしと関わらせて考える。	
80	⑥「生命の星」を守るために (p.204~205) さまざまな環境問題 地球温暖化とその影響 国際社会の動きとこれから	○地球温暖化をはじめとする、さまざまな地球環境問題の原因と現状に気づき、これまでの国際的な動きを整理してまとめることができる。 ○地球温暖化とその影響について理解するとともに、国によって地球環境問題への取り組みにはさまざまな立場や考え方があることを理解する。	

終章 私たちにできること

(配当4時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動3時間)

1節 持続可能な未来へ(配当4時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
81	①持続可能な未来のために (p.208~209) これまでの学習の集大成として 未来への希望を込めて 希望につながる「約束」へ	○これまでの学習の集大成として、持続可能な未来のために「未来への私の約束」を作成するための準備をする。 ○さまざまな課題と関わる「本質的な問い」と向き合いながら、課題解決のための答えを探していくことの大切さに気づく。	
82 ~ 83	②「未来への私の約束」をつくろう (p.210~211) 「未来への私の約束」の作成の主な流れ	○資料収集や個人テーマを追究する手順を考える。 ○追究する個人テーマと、持続可能性を妨げる課題との関わりについて理解し、手順にそって作成する。	●①時での、さまざまな課題を認識し、解決する意義に関する学習を受けて、テーマの設定、資料の収集、「未来への私の約束」を、手順にそって実際に作成する。 【2時間】 ※生徒からの相談や進捗状況を把握する機会を設けるなど、生徒の学習状況を適宜把握し、適切に指導する。
84	③持続可能な未来への行動 (p.214) 「未来への私の約束」を持って	○完成した「未来への私の約束」を相互に発表し合い、他者との対話を通してさらに改善することができる。 ○卒業後も、「ともに生きる社会」の実現に向けて、「未来への私の約束」を生かして行動し続けていくことの大切さに気づく。	●作成した「約束」の内容をもとに、卒業後も「ともに生きる社会」の実現に向けて行動し続けていくことについて、さらに自分の考えを深め、まとめる。その際、可能な限り他者との対話を通して、「約束」の改善に取り組む。 【1時間】